



東京都議会 活動レポート



東京都議会議員
(港区選出)

かんの 弘一

● 都議会でのしごと ● 経済・港湾委員会 副委員長／議会運営委員会 委員／オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会 委員／前 豊洲市場移転問題特別委員

専門家会議の報告書によると

より食の安全と安心を図るため、人の健康を保護するために維持されることが望ましい目標、「環境基準」を上乗せ基準とする。

「土壌汚染対策法上、地下水を飲まない場合は土壌中の汚染をそのままにしてアスファルトで封じ込める対策で構わない。」

環境基準とは？

長期間継続的に摂取することを前提として設定された数値で、この場合、具体的にいうと、地下水を70年間毎日2リットル飲み続けても健康に影響が出ないような基準。(水道水の水質基準と同じ考え方)

知事 (3/14 予算委員会の答弁)
「法的に求められている点についてはカバーをしている」

環境局長 (3/14 予算委員会の答弁)
「豊洲市場用地については、盛り土、アスファルト、コンクリート等により、土対法上必要な措置はされている」

豊洲新市場

上乗せ基準
「より」安心のための基準

法令上の問題なし
「安心」のための基準

「地下水は飲用や市場業務(食品の処理)に用いない」
(H29.3.14 予算特別委員会 市場長の答弁)

築地市場

上乗せ基準?
いろいろな課題がわかり「より」安心を求めなくてよいのか?

法令上の問題なし
「安心」のための基準

土壌汚染の問題は大丈夫? (米軍のクリーニング工場等) だった

建物の老朽化は大丈夫? (最も大きな建物である「水産物卸卸業者売り場」を含む6棟が耐震基準を満たしていない=既存不適格)

場内の交通事故の問題は? (年間300~400件 交通事故が起きている)

開放型市場だが衛生面は大丈夫? (カモメ、ネズミ、カラス等)

都による土地利用履歴の調査で土壌汚染の可能性があるとわかり

知事 (2/28 ぶら下がり会見)
「コンクリート・アスファルトでカバーされている。汚染という観点、法令上の問題はない」

知事 (3/14 予算委員会の答弁)
「築地はコンクリートやアスファルトで覆われているか、土壌汚染対策法等の法令上の問題はないか」との質疑に、「土対法上、安全と考えております」

市場の安心について

菅野 知事は、築地の安全は市場関係者の長年の努力で安心がレガシーになっているというが、あなたが長である東京都が報告した地歴の結果によると土壌汚染のおそれがあるとされ、また建物の老朽化等の問題も出てきている。築地市場のいわゆる上乗せ基準(「より安心のための基準」)が崩れかけているのではないのか?

知事 いかにも築地に問題が多いか、(予算委員会の場合)次々と皆さんにお知らせいただいているが、土壌に有害物質がある可能性を私は否定をしていない。しかしながら、そのためには調査が必要であり、その結果を待ちたい。

菅野 (築地は)安心と、知事は判断された。それは法令上の問題がない(「安心のための基準」を満たしている)というのが大きいからではないか。

知事 築地市場の安全性について土対法上の必要な条件ということについては、これはカバーをしている。

菅野 まとめると、「法令上(土壌汚染対策法)の問題がない」ということが大前提で、知事が先日、築地はアスファルト、コンクリートで(土壌が)覆われているから安心だと宣言したのも、恐らくそこがしっかりしているからだと思うが、であるならば、同じく法令上問題ない豊洲新市場も安心だということにならないか。

また、知事はより安心を求めて、(豊洲について)「より安心のための基準」をみたすよう努力をしている、(一方で)築地も今いろいろな課題が出てきていて、「より安心のための基準」が揺れ動いている。安心ではなくなくなってきているのではないのか? 懸念もあるが?



築地市場と豊洲新市場の基準を比較して質問

知事 築地市場に関して、土壌調査など、判断に必要な要素というのがまだ数多く残されている中で、現時点ではどちらということについては、ステップ・バイ・ステップである。

菅野 専門家委員の先生方によると、豊洲は科学的にも、法的にも安全だということが確認されている。

昨日、知事は、豊洲も法令に反せず安全だと認められた一方で、上乗せ基準をクリアしていないので安心ではないとも答弁されている。

確かに築地は、市場関係者の努力、ソフパワーで信頼を保ってきている。しかし、東京都自身が、土地利用履歴の調査で土壌汚染のおそれがあると、環境基準を超えるヒ素などが出たことを確認したのではないのか。

都民の安心を大事に考えるなら、何ゆえ、築地の土壌汚染の調査もせずに安心だと断定できるのか。豊洲は、法令を超える上乗せ基準をクリアしなければ安心ではないということであれば、知事が、築地にも同じ厳しい基準を当てはめないのはなぜか。

今後、築地の土壌汚染を調査することだが、築地にも豊洲基準を適用し、都民の安心の有無を判断するのか。豊洲と築地は違うというようなダブルスタンダードはやめていただきたい。

知事 築地については、土対法上の基準は満たしている。

豊洲市場についても、土対法の法令上問題はないが、安心を確保しようという意味だと思うが、盛り土などの法令を上回る対策を講じるということが約束をされたわけで、これがまだ守られていないということから専門家会議を再開し、検証中というのが今の我々の現在地である。

菅野 逆の立場で質問すると、築地は法令を上回る豊洲基準をクリアしなくても安心だということならば、なぜ豊洲も安心だといえないのか。論理的に破綻していないか。豊洲は不安だといっているのは極めて不自然。どうしてそこまで豊洲移転をしないということにこだわるのか、こんなダブルスタンダードをしているようでは都民の理解は到底得られないのではないのか。



「より安心」を求めた基準について答弁する小池都知事

日の出・竹芝ふ頭の
機能強化について

菅野 港区の日の出ふ頭は、レストラン船や水上バスなど多くの船舶の発着地となっており、舟運施設が集積するとともに、鉄道網からのアクセスが良好であるなど、舟運拠点として高いポテンシャルを有している。

現在不足している小型船の発着機能の強化や、人々が集い、にぎわう環境づくりに取り組むべきと考えるがいかがか。

港湾局長 都は、来年度、新たな棧橋の整備に着手し、水上タクシーなど小型船の発着機能を強化する。また、現在閉鎖中の人道橋の耐震補強を行い、隣接する竹芝ふ頭とのアクセスを改善。さらに、ふ頭の建物をライトアップする社会実験などにより、港らしさを感じることのできる景観の形成に努める。

※ MICEの誘致について

菅野 多くの観光消費を生み出すとともに、都市としてのPR効果も高いMICE誘致をめぐる国際的な競争は年々激化しているが、都のMICE誘致施策の充実強化について伺う。

産業労働局長 都は来年度、会場となる会議場やホテルのホール、大学の講堂などを対象として、Wi-Fiや同時通訳システム、大型のスクリーン等の導入に必要な経費の二分の一について、一施設当たり三千万円を上限に助成。また、外国からの参加者のため、会議場やホールの中の案内表示の多言語化にも補助を行う。

※MICE…Meeting(会議・セミナー・研修)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、ConventionまたはConference(学会・国際会議・大会)、Exhibition(展示会)の頭文字をとった造語である。

一般の観光旅行に比べて消費が多く、数倍の経済波及効果があると言われている。

中小企業のサイバー
セキュリティ対策

菅野 近年、サイバー攻撃の対象は中小企業にまで広がり、技術ノウハウや顧客情報等の流出など甚大な影響が懸念されているが、大多数の中小企業では、サイバーセキュリティ対策が遅れている。

東京二〇二〇大会を控え、サイバー攻撃の脅威が高まる中で、都の取り組みを伺う。

産業労働局長 都は来年度から、サイバー攻撃に対して必ず行うべき対策や、事故が発生した場合の初期対応などをわかりやすく伝えるガイドブックを新たに作成し、約二十万社に配布。また、機密情報の窃取等を目的として特定企業にウィルスメールを送りつける、標的型メール攻撃が増加していることから、標的型メール訓練を中小企業百社に対して実施する。

老朽マンションの
建てかえについて

菅野 老朽マンションの中には、敷地の条件等により単独では建てかえができないものも多い。都市開発諸制度には大規模な開発でなくても適用できる総合設計制度があるが、こうした制度を活用し、隣地との共同化等により建てかえを促進する事が効果的と考えるが見解を伺う。

東京都技監 来年度から総合設計制度の運用基準の見直し、敷地の集約や共同建てかえにより、地域の安全性向上など、まちづくりに貢献する計画については、都心部などで新規の住宅供給を誘導する場合に適用している容積率の上限まで緩和を認め、老朽マンションの建てかえを促進する。

都営地下鉄における
ホーム上の安全対策について

菅野 二〇二〇年東京大会に向けて、安全対策の一層の充実が求められている中、銀座線青山一丁目駅や京浜東北線蔵前駅等で視覚障害者の方のホーム転落事故が発生するなどホームドアの設置は喫緊の課題である。

今般、浅草線全駅のホームドア整備の早期実現を目指して、車両の大規模な改修改造を必要としない新たな技術の実証実験を行ったと聞いているが、具体的な内容と今後の展開を伺う。

交通局長 浅草線は、乗り入れ車両が多く、従来の方式では各社の車両の改修に多くの経費と時間が必要となる。交通局では、QRコードを車両のドアの定位置に貼り、これをホーム上のカメラで読み取ることによってホームドアとの連動を可能とする新たな技術を民間企業と共同で開発した。

今後は、浅草線でホームドアを先行して整備する新橋、大門、三田、泉岳寺の四駅でこの技術の実用化を図る。

なお、この新技術については、同様の課題を持つ鉄道事業者にも広く紹介し、ホームドアの整備促進にも貢献していく。



都営浅草線のQRコード

京急本線の
連続立体交差事業について

菅野 国際交流拠点としての品川を築くために、環状四号線を初め、周辺道路交通の円滑化や品川駅の利便性の向上が不可欠だが、京急品川駅付近には、長年の懸案である八ツ山橋踏切や旧東海道の品川第二踏切などが残存している。

また、品川駅は現状、JR線と京急線の乗りかえ動線が複雑で、移動距離が大変長い。これらの解決に向けた京急本線の連続立体交差事業の取り組み状況を伺う。

東京都技監 八ツ山橋踏切など三カ所のあかずの踏切を除却することにより、交通渋滞を解消、東西に分断された地域をつないで沿線地域の活性化を図る。

第一定例会 予算特別委員会 討論(抜粋)

3月28日、都議会自民党を代表して、平成29年度東京都中央卸売市場の「会計予算(第18号議案)」と「補正予算(第86号議案)」の編成替えを求める動議に「賛成」、また、その他の知事提案にかかわる議案に「賛成」する立場で討論に立ちました。

市場会計予算の編成替えに「賛成」

菅野 築地市場は昭和十年の開設以来八十年以上が経過し毎日が施設の老朽化との戦いである。現在の環境は市場関係者の努力、マンパワーで保たれている。

先日は「ろ過海水送水ポンプ」が停止するなど市場機能の根幹を揺るがす事故も起きている。市場設置責任者である知事の責任において放置は許されない。よって老朽化対策を充実させた予算の組み替え動議に賛成するものです。

市場会計補正予算の編成替えに「賛成」

菅野 豊洲市場移転延期に伴い市場関係者に生じた損失に対する補償を行うための経費の把握方法は、個別事業者の豊洲市場に導入した設備の状況であり、事業者の損失を正確に見積もっておらず、当面の補償金の支払いだけで補償額の総額には到底およびない。よって対策を充実させた組み替え動議に賛成いたします。

駅部においても、京急品川駅とJR品川駅の改札階を同じ高さとする事で、乗りかえのしやすさなど駅の利便性向上を図る。本年一月に都市計画素案の説明会を開催し、延べ約千名に説明を行った。今後とも、鉄道事業者や地元自治体と連携を図りながら本事業の早期実現に向けて積極的に取り組む。

予算委員会の質疑の全文は
都議会ホームページをご覧ください。
<http://www.gikai.metro.tokyo.jp/>

皆様のご意見をお聞かせ下さい

東京都議会議員

かの弘一 事務所

〒108-0071

東京都 港区 白金台 3-17-4
第一松島ビル 1F

TEL.03-3445-8211

FAX.03-3445-5155

<http://www.kanno-ko.com/>